

軟式野球部神戸新聞掲載 8月6日神戸新聞朝刊運動面に10年ぶりに全国大会予選で優勝した軟式野球部の記事が掲載

されました。ハ木主将が中心となりチームをまとめたことなどが書かれており、8月24日から始まる全国大会が楽しみになってきました。3年生にとっては最後の大会となるので悔いのないよう、思い切りの良いプレーで神港学園らしさを発揮してほしいです。

暑い日が続きますが、体調管理に気をつけて頑張ってください。

ひょうご私立学校説明会 8月10日今年度4回目となる「ひょうご私立学校説明会」がアクリエ姫路で行われました。天気の影響もあったせいか、神戸会場ほどの混雑はなく、相談に来られた

方々には十分な説明を聞いていただけたかと思います。全体での説明会は今回が最後で、2学期以降は学校ごとの説明会となります。頑張っ神港学園の魅力を伝えていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

全国大会出場部活動の結果 全国大会に出場した部の結果を報告します。空手道部男子個人形の赤木選手はベスト16、女子団体組手はベスト8、個人組手の穂野選手は惜しくも2回戦敗退(階級別ではない)。全力を尽くしてくれました。男子バレーボール部のビーチバレーではベスト4に入り、3位決定戦は惜しくも2点差で敗れるという頑張りを見せてくれました。この後、国民スポーツ大会にも出場することが決まっているので、楽しみになってきました。この勢いを春高予選につなげてほしいですね。全国ベスト4おめでとうござひます。そして、柔道部。男子団体は2回戦で敗退。個人では66kg級藤村選手は優勝した選手に2回戦で当たり惜しくも敗退。90kg級千々和選手と100kg超級平選手はともにベスト8にとどまりました。いずれも上位進出を目標としていただけに少し残念な結果ともいえるかもしれませんがよく頑張ってくれました。こちら国民スポーツ大会で更なる飛躍を遂げてほしいですね。お疲れ様でした。

軟式野球部報道機関へのご挨拶 8月18日軟式野球部全国大会出場に伴う報道機関へのご挨拶に中尾監督、正木部長と共に行ってきました。毎日新聞、朝日新聞では神戸支局長から激励をいただき、神戸新聞では運動部長からの質問に答える形で取材をしていただきました。19日神戸新聞朝刊運動面にはその記事が掲載されました。日が近づくにつれて緊張感が増してきます。24日明石トーカロ球場での開会式に臨み、その後、姫路ウイック球場にて東洋大牛久高校との初戦に臨みます。頑張ってください。

陸上競技部県高校ユース 8月19日から県高校ユース大会に出場した陸上競技部。上位入賞までは行きませんでした。が、長距離では合宿の成果を発揮し、自己新を出す選手が多く、手応えを感じました。1年男子3000mSCに出場した篠藤選手は9位と惜しくも入賞を逃しました。県全体のレベルが高く厳しい戦いを強いられましたが、それぞれがこの夏の成果を感じ、秋以降の試合でさらにその成果を発揮してくれるものと思ひます。

8月に感じたこと 今年は終戦から80年ということで戦争を体験された方々の高齢化が進み、どのように語り継いでいくかが取り上げられていました。戦争を経験したことのない私たちにとっては、どこか遠くの出来事のように感じられ、実際今世界中で起こっている紛争等もニュースでは確認しますが、何か行動を起こしているかといえ、やはり自分事として捉えられていないような気がします。私自身、修学旅行で訪れる沖縄や鹿児島さらには広島や長崎など行く先々で悲惨な状況を写真や文章で見ました。自分がその立場ならどう思ひか、そのとき何ができたかと考えますが、国の方針や進め方などに逆らうことはできないでしょうし、難しい選択が多い時代であったように思ひました。また、九州地方を襲った大雨による被害、熊の出没による被害など自然環境に逆らうことができない中での被害状況を考えると、何をどれだけ準備しておけば良いのか、もしそうなった場合はどこに助けを求めれば良いのかなど、協力体制の確立とともに自分事として今後考えておかねばならないと切に感じました。また今更ながらに当たり前の生活、普段通りの生活がどれだけ貴重なものなのかを改めて感じさせられた気がします。そして残暑はまだまだ厳しいですが、朝早く散歩をしていると秋の虫の声がよく聞こえるようになってきました。また7月に比べて日の出が15分ほど遅く、日の入りは30分早くなってきました。確実に季節は進んでいます。夏の疲れをとり、体調を整え、2学期の準備を進めていきましょう。

